（六日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭　第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料　雜報欄行五十錢　場所指定二十錢增
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所　磐城新聞社　電話五六四番

都會人と草花

若い婦人の間に野菜造りが流行る

只今草花賣店の店頭に出ます花物や盆栽は春さきとは違ひ種類の品種も割合に少くなりました。

◇

切り花としましてはバラ、カーネーション・西洋芍藥、鐵砲百合、毛百早咲クラヂオラス、スパインヤ、ダイアンサスなどが出盛りましたが、從つて値段も割合に高くはありますが目あたらしいので人氣が御座います。バラは出盛つて參りましたのでお安くはなりましたが保ちが惡いので困ります。高給品の保ちのよいものと云つたら先づ百合、西洋芍藥、普通品では早咲きグラヂオラス、スパインヤ、スゥキートサルタンなどで御座います。藥物ではアスパラカスが年中人氣者で御座います。

◇

鉢植の西洋草花は秋ものには早く夏のものも半ば過ぎてごくよいものも見當りませんが、ゼラニウム、ホクシヤ、カルゼオラリヤ、バーベナ、ビスカリヤ等が出て居ります。寄り植も花の種類の少ない時だけにごくよいものも出來ませんので手桶形のジノブの化粧鉢は四五種植込んだ秋向きのものが受がよい樣です。盆栽類はこれから秋頭にかけて一年中の全盛期とでも申しませうか種類も多く又よいものも見受ます種類としましてもさつき、楓、如柳、風知草、蘭の類などで何れもたとらぬ人氣が御座ひます。

◇

花物や種子は少し時期が過ぎましたので少くはなつてをりますが、郊外に住まひの方々の多いためか[illegible]き婦に若い御婦人方にこの傾向のあるのはむしろ慾かされる位です。睡蓮も相當すかれますがなにしろ池又は大きな水鉢がいりますのでやつかひがられて思はしくありません。

◇

[illegible]見舞や祝儀あるひは店頭の裝飾など實用むきに使はれるのは寄植や花物などよりは保ちのよいつた、風知草、棕櫚竹、蘭などが選ばれます。然し一時的に花やかさをこのむモダーン婦人方や外人は多く盛花や花束をえらばれます。（山田生）

磐新顧問

（照合を歡迎す）

（問）四歳の男兒、健康体ですが病氣の時とか睡眠中には出ませんがその以外の時は涎を出してこまります醫者にみせましたら二三年も經てば自然に治ると云ひますが療法は有りませんか（見島）

（答）涎が出るのは胃が惡い爲めだから食物に氣をつけてごらんなさい、こんなし子供さんに限つて食事が決らず間食が多いのです、過食と間食を少し制限しへごらんなさい。

（問）二十三歳の男、色盲が有るので勸め先でこまりますが全治するものですか（鐵夫）

（答）只今では未だに適當な療法が發見されて居りません

（問）私は父方も母方も皆中風の血統です、中風は果して血統を引くものでせうか、また豫防藥と云ふやうなものが有りましたら知らせ下さい（中岡）

（答）中風は遺傳します。アルコール中毒の人には殊に多いから酒はどうしても愼しむ必要が有ります、血管の怒張は最も良くないから感情の昂奮をさけねばならない豫防藥として醫師の立場から責任を以てすゝめ得るものは有りません。

※明日の吉凶※

八 九　舊月 新月　曆二十 暫七　日 日

▲一白　一時調子付きたる話も後は破れ易し注意▲二黑　花々しく榮進はなくとも隱れたる功ある日▲三碧　萎微の風は怠慢より來る腕一杯に働くべし▲四綠　靜かに安らかにに永幸抱すれば吉日たり▲五黃　一矢は折れども三矢の力は强し氣を揃へよ▲六白　これよりよくなる初め支障のため氣を折るな▲七赤　目先を捨て大局に着眼して働けば大勝利▲八白　德を以てすれば如何なる魔も犯し得ざる日▲九紫　謙遜の德は我を樂園に導くものと知るべし

講談　血で血を洗ふ

（132）　高橋掬太郎創作　布施や八郎揮畫

姬の悲しみ

妙光寺に預けられて成長した千世姬も早や十八の春を迎へた。十八と云へば娘ら盛り樂しい盛りどんな貧しい家にあつても明るい希望に燃えて心のおどるやうな日を送る年頃なのであるが身は一國の領主の姬であり乍らも悲しい運命を負ふて生れて來た千世姬はやるせない寂しい灰色に包まれたやうな悲しい日を送つてゐた。

乳人や寺主の妙信尼は心から千世姬を慰めいたわつてくれたけれど姬の心は何時も慰さまなかつた。乳人や妙信尼に對しては微笑ましげに見せても心の底ではいつも沈んでゐた、たとへば咲かずに褪れて行く花のやうであつた。姬は母に會ひたいの一心であつた

「母上にに目にかゝりたいどうぞして母上にお目にかゝりたいこのやうにお慕び申して居りますものを何故に母上は逢うて下さらないのであらう」

と今日も姬は居間の前の椽に立つて城の方を眺めながらひそかに嘆いてゐた

昌康は深雪の方が千世姬と會ふことを絶對に禁じたそれは自分を狙ふやうな恐ろしいことを姬に敎へ込みはせぬかといふ恐怖からであつた。

が姬はそのやうなことは知らないので何んのために母の深雪の方が會ふてくれずかうして城外の尼寺へ預づけておくのであらうと訝かしく思はれるのであつた

神部淸左工門が折々逢ひに來るのでその時にいろ〳〵と問ふても淸左工門は敎へてくれなかつた。

だが母の深雪の方は決して情ない人でなく姬を心から愛してゐるのであるが或る事情のために會ふことが出來ないこと未だ父の成昌は戰死したといふことだけを敎へた。で姬は母の深雪の方がどうして叔父の昌康の奥方になつてゐるのかそれも不思議に思つた。

「それも或る事情のためにた話が出來ませぬ、なれど追々に判りになることゝ存じます。また時節が來れば拙者より詳しくお話も仕りませう」

とかういつて淸左工門は姬の抱く疑問を解いてはくれなかつた。

が姬もそれを解くことは時節が來ねばならぬものと思つて諦めてゐた。そして母に逢いたいのが一心であつた。

あたりはいつしか又暮れなづて庭に流れてゐた殘照も次第に塀の蔭に消された。そして庭に咲いてゐた一樹の櫻が晩春の夕風にほろ〳〵と花をこぼしてゐた時に歸る鳥ノ群が鳴きつれて城の彼方へ飛んだ。

「あの城には母上がたられるほんの手を延ばしたなら屆きうな間に居なから戀しい母上にお逢することも叶はぬ、なんといふ悲しい身の上であらう」

と千世姬は胸を抱いてかこちなげいた。

姬は背丈のすらりとしら細面の美人で綠たけなす黑髮の根を白紙で結んで背に垂れてゐた。をくれ毛が二筋三筋ま白いうなじにふるへて早く迫る夕闇中にくつきりと白く浮いてゐる顔りない哀愁の色が漂つてゐたそして露を含んだ若草のやうに長いまつ毛が涙に濡れてゐた。

「妾も早や十八近いうちにこの黑髮を剃り落して尼にならねばならぬといふがその以前に一度母上にお會ひしたいものぢや」

と姬は乙女らしい可憐な願ひを心に祈つた。

廣告

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

平町紺屋町
蓮沼醫院
電話五〇七番

秋！
活躍のシーズン來る
勞働勤務に運動に
指示正確なる
時計を
TRADE MARK
蓄音器とレコードの
御用は……
定評ある當店へ
平町四丁目
會田時計店
電話三六三

平町紺屋町
吉田眼科醫院

メンチカツ　一品
金十五錢
出前も致します
カフエータヒラ
平町一丁目（電話六二〇番）

◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候
金牌一等賞受領
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番

外科、耳鼻咽喉科
內科、泌尿器科
X光線科
外科
赤心堂病院
平町字田町
電話四七五

懇切迅速勉强は
弊店のモットーであります
磐城銀行御指定
ケーテー洋服店
平町材木町
高野幸一

創業三十週年紀念謝恩デー
自信アル一の井洋食普及
九月一日ヨリ向一ケ月謝に勤致します
高級洋食
一品金十五錢均一
洋食宴會仕出し
平町田町
一の井
電一六七番

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な上盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり御越げば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

今明日中に 正式な運動開始
石城の全部に亘つて 早くも戰雲頻、低迷

三日選擧期日の告示後翌る四日が恰も日曜日に相當した爲法定の供託手續が出來なかつた石城郡内に於ける縣會議員の各候補者は日曜あけの昨五日朝來それ〴〵今供託局に出頭其の手續を開始し同日正午迄に日銀平代理店たる磐城銀行に納入濟みとなりたるもの二名爾餘の各候補者も同日相前後して之が納付を了し事務長の選任事務所の開設、選擧委員事務員の選任等選擧の實際運動は茲にはじめて正式にその幕を切り下され今六日は早くも某候補の演說會が開催されんとしつゝある等戰雲の行き交ひ漸くおだやかならざるものがある尚未だに事務長などの決定せぬ分は恐らく今明日中位にその決定を見るものと觀察されてゐる

署長會議から歸つた 猪狩署長の胸裡
既に取締方針決定 署員を召集協議

別項今や縣議戰の火蓋は切られんとして暗雲頻に低迷する時去る川日より縣に開催された警察署長會議に列席昨五日夜歸平した新任猪狩平署長は今朝來署樓上の秘密室に籠城し伊藤高等主任を始め高等係員並に幹部署員を召集秘密裡に何等か重大な協議を進めてゐるが既に目睫に迫りつゝある縣議逐鹿戰に對する警戒取締方針が具体的に確立されたものの如く全署内は昨日に變る緊張味を帶んでゐる

神谷分場で 農事傳習
十日午前十時から

神谷農事試驗場では來る十日午前十時から午後三時まで同場講義室に於いて農學傳習會を開く事となつたが當日は縣農事試驗場森賓技師の農業經濟、取り方と題する講演ある筈

東電爭議が 平に移る
當局嚴戒

郡山市東部電力會社の爭議により會社關係各發電所並びに變電所は何れも罷業に入り險惡な雲行となつてゐるが四日來から本郡川前村並びに双葉郡木戶川の發電所從業員も罷業に參加したが五日の正午突如會社側では暴力團員五十餘名を平町地方に向けたといふ噂が立つたので此れが事實とすれば兩者の衝突は免れないものゝ如く一方罷業團側も死もの狂ひとなつて結束を固めてゐるため會社對罷業團の關係は刻々險惡となる模樣で平署では平營業所を嚴重警戒中である

高久院長全快
感冒のため數日來就床中の高久病院長高久忠氏は昨五日全快したので同日から一般患者の診察に從事してゐる

海水の比重變化で 濱三の漁業不振
近海漁業を絕望ご見て大型漁船建造

本縣濱三郡の沿海に於ける漁業は逐年成績が擧らず就中相馬郡の如きは甚だしい漁業不振に陷りつゝあるが此の原因に就き調査した處に依ると近年山林の伐採が甚だしく河水の流量が激減した爲め海水の比重が變化し又各河川から流出する魚族の餌料が減少した爲め會社や工場から各種の藥品を放流し水田からは金肥を流出するのが海水に混じて種々の作用を起す結果魚類の繁殖に大影響を來し漸次近海から遠洋へ棲息するに至つたものであると云はるゝが漁業の振興を圖るには目下の狀態では大型漁船を建造して遠洋漁撈に從事するより外は無からうと云はれる

平陽校の バザー
十四日から三日間

平町私立平陽實科女學校で來る十四日から三日間例年の如く同校在校生の手藝展覽會を開催する事となり目下準備に忙殺されてゐる

女給の不足を嘲つ 平町のカフエー
志願者もあるが御面相ご給料の不釣合で

平町内には現在二十餘軒のカフエーがあるが、之等のカフエーが一切に女給難で叫んで居るカフエーでは何れも女給入用の看板を揭げて女給志願者の來るのを待つてゐる、普通の日には女給志願の女がカフエーを訪れることは僅であるが、日曜日には何れのカフエーも女給志願の女の訪れが多いが、さて抱主の要求に副ふやうなカフエーの女給に間に合ふといふ美人が尠く女給、間にあふ女であるからいざ採用せんとすると月給が安くてはと逃るといふ有樣である、日曜日に限つて女給志願の多いのは市內の工場の女工が女給生活の華やかさに憧憬れ女給入用の看板に惚れ込んで友達等と共に模樣を聞きに來るものである、然し要求することゝ御面相とが反してゐるので採用するに至らぬといふ有樣である

職業漫談
女では最高級の月給取り
若い者に[illegible]に 絞りとられる

話の材料になるやうな職業が、そつちにもこつちにもごろ〳〵してるとおもつたら、さて仲々見つからないもので、百態どころか五十態位のところでヘタバリさう——

×　×

女性の職業としては最も古い歷史がある女髮結——これなんか職業として見るよりは裏面觀とでもいふべき髮結生活の內幕でも覗いた方が餘計話の材料になる價値があるかも知れない まア髮結情話といつたやうなのをですナ

×　×

第一女髮結といふ職業はあれで仲々馬鹿に出來ないもので、どんな流行ない髮結でも日に一圓五十錢の收入は缺かさないといふから女としてはこの上もないいゝ商賣で、亭主を寢せて喰はせてをく位のことはいと易いことに違ひない

×　×

差當り一例を擧げると或る一人の若い女髮結師が自分の得た收入を戀人の學生にみついで大學を卒させたとか、粒々辛苦五年間ほど稼ぎ貯めた資本で素晴らしく立派な邸宅を新築して納まつたなどといふ話がザラにあることを諸君は聞いてゐるだらう、これは東京での出來事だがさて平の髮結たちの收入は一體どんな方面に費されてゐるのだらうそれは髮結自身からきかないと判らない、第一そんな出世した髮結のあつたことをきいてゐない

×　×

「さうですねエ」と意味あり氣な笑ひを浮べながら記者の質問に應じた或る年增な髮結師匠の打明話し——「今の若い人たちは何かといへばすぐイロに迷ひ勝ちなもんですから仲々お金が貯まらないですよ、收入がよし、自由が利くとなると身持の確な人は格別、すぐに男の尻を追ひ廻すといつた風ですからねエ」

×　×

「髮結商賣が金になると言つても大抵は生活に追はれ通しですよ、金が貯る餘裕があるといつても、みんな御亭主次第です可哀想に、あまり新聞なんかに書かないで下さい」

教員と保姆志願 平だけ百八十名
資格を得れば 高給で飛ぶ樣に賣れる

本縣今年度學校の教員及小幼稚園保姆試驗は福島、若松、郡山、平、田島の五ケ所（平は第一小學校内）に於いて來る十九日から五日間執行されるが平試驗場の受驗者は百七十七名、前年度より約二十名の增加を示してゐるが此れは同試驗に依つて教員の免狀を得れば初任給四五十圓と言ふ此の不景氣な世には一寸稀な給料で飛ぶ樣に賣口があるため資格を取る一方に生活の安定が得られると云ふ一擧兩得から打算して此の增加を見たものであらう

一ノ瀨工學博士 小名濱商港視察
きのふ實地を踏査し 縣內河川視察

小名濱商港計劃は本月末の閣議、提案し愈明年度から決定する手筈になつて居るので內務省土木局技監一ノ瀨工學博士が五日午後一時二十五分泉驛着で小名濱に至り六日縣商工部で計劃した案に就いて視察し同夜は平一泊、七日福島荒川及び阿武隈川筋の本省直轄の河川を視察し八日は阿賀川の改修を視察し新潟に向ふ筈である

東京大相撲
十日に延期

東京大相撲西ノ海、宮城山一行が來る九日平町に於いて興業の筈であつたが種々都合上一日延期して十日興業の事に變更決定した

記者募集
年齡二十才位の身体强壯にして中學三年程度の學力あり市內に住居するもの一名至急募集す、希望者は午前九時までに自筆履歷書持參本人來談あれ

磐城新聞社

種牡馬檢査
本縣種馬所では縣下十八ケ所に於て種牡馬檢査を施行する筈なるが濱三郡檢査日割左の如し

▲二十七日相馬郡原町▲二十八日双葉郡富岡町▲二十九日▲石城郡平町

繭市場休業
石城販賣利用組合四ツ倉市場は都合で五六の兩日休業した

草野登氏盛葬
地方有志多數

石城郡小川村有志草野登氏の葬儀は既報の如く四日午後二時出棺同村常慶寺に於て執行されたが會葬者は白井農銀頭取菅波帝國酒造專務等の親戚側をはじめ安島代議士金成植電社長、鈴木前縣議、古川、小野、井上草野各縣議其他地方有志約一千名を網羅し、地方稀れの盛葬であつたが產馬組合長安島重三郎氏外十數氏弔辭あつた

役場の調べた 日用品標準物價
上りもしなければ 下りもしない

町の去月中に於ける日用品の標準物價を町當局の調査した處ろに依ると△白米一升一等三十九錢二等三十八錢、三等三十七錢△麥一升白麥十六錢平麥十四錢△味噌一貫匁八十錢△醬油一升六十五錢△清酒一升一圓△木炭一貫物楢丸三十五錢、楢割二十八錢、雜木三十錢△砂糖百匁白十八錢和白十四錢△肉百匁豚上六十錢、並五十錢、牛上八十錢、並五十錢 以上で前月に比して米が各一錢の安値を示した外は全部高下ない狀態である

鎗と鉋 （投書歡迎）
人間談義

◇他人の缺點はよく目につくが自分の缺點はなか〳〵氣がつかないもので、ある老人は自分の盤になつたことを忘れて、鷄が鳴く姿を眺めて云つた『昔の鷄はよく鳴いたが今の鷄は少しも鳴かすにあくびばかりしてゐる』

◇私たちがお互の身を省たならば決してこの話を笑つてはゐられない。何となれば私たちは日常生活について些細なことにも身勝手身びいきな判斷を下しやすいからである。小說家スモレツトが健康を害して歐洲を旅行した時、世の中のありとあらゆる者がみな黃色に見みるのを非常に不思議がつたがその實自分が黃疸にかゝつてゐることを知らなかつたのである すべて物事を判斷するには先づ自分の心にかゝつてゐる色めがねを取り去らなければならぬ。

◇他人のアテは目につきやすいがその他人を知ることとすらむつかしい場合又はなか〳〵困難である まして自分を知ることは難中の至難と云つてよい英國の有名な外科醫アバアネチの所へ、ある日憂欝な顏をした一人の患者がやつて來た。アバアネチは診察の結果患者が高度の神經衰弱に罹つてゐることを知り何よりも先づ大いに笑つて精神を爽快にしなければいけないと云つて、その頃ロンドンで大評判の道化役者グリマルデの芝居を見に行くがよいと極力すゝめた患者は目をむいて驚いてゐたがやがて醫者の言葉か終るなり叫んだ『そのグリマルデと仰しやるのは私です』

◇自分の顏を見るには鏡があるけれども、自分の心を見るに適當な道具がないから、多くの人は自分を知らずに終る。ギリジヤの大哲ソクラテスが『汝自らを知れ』といつたのは誠に尊い敎へである。

◇他人と意見が相違したり、また他人と感情の齟齬を來した時など、多くの者は相手が惡くて自分がよいと思つてゐる。それだから意志の疏通とか感情の融和といふことが容易に行はれないのである。

◇孔子も『弓を射ることは君子に似たり、正鵠を失すれば反てこれをその身に求む』と云つた。正鵠とは鵠といふ鳥を布にかいて、それを的にしたものであるどんな人間でも弓を射て矢が的に當らなかつた時は、的の立て方が惡かつたら當らなかつたと思ふ者は一人もなく誰しも必ず自分の腕が至らぬから當らなかつたのだと思ふ。それと同じやうに、君子は萬事につけ我が身が惡いと思ふ、といふのがこの言葉の意味であろ實際さう思つてたら間違ひは起らない

（丈友生）

秋の御仕度
流行新柄 セール 新荷着
◎紡績蒲團縞
◎木綿蒲團縞
◎フトン綿
豐富 取揃へました
三井呉服店
平町三丁目 電話三十八番

深キ經驗ト 正シキ學理ヲ基トシテ 最新ノ設備ト 優秀ナル技巧ニ依リ
多産廉賣 益々聲價漲ル
萬年瓦
仙臺高等工業學校試驗證明
鐵道省 福島縣廳 栃木縣廳 青森縣廳 指定品
福島縣四倉町
萬年瓦工業株式會社
電話三八番

釀造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部）一〇番 （釀造工場）二七番
振替東京一九七五五番
東京支店
上野車坂町四三
電話（下谷）五七二三番
振替東京六八三二三番

正確な体溫器と寒暖計は親切な
山野邊藥店
平町五丁目角

平町田町
高久病院
電話五一三番

平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

御料理 鰻蒲燒 仕出し
平館隣り
魚榮
電話四二四番

畏くも本書は山階宮萩麿王殿下の御買上を賜る
貴族院議員子爵 白川資長閣下賛字
前福島縣知事 川淵洽馬閣下賛字
諸根勿來著
磐城文化史
見よ!! 本縣東部の彪然たる郷土文化史の一編を
本書は陸奥ゐ門たる即ち磐城四郡ノ歷史制度を研究綜合したるものにして且つ本邦史上に對し勿來關址地方に於ける未顯史の發見的著作である
全一冊、クロース大金上製、背金文字、箱入、九ポイント及五號活字混せ組、總頁四百八十餘頁、貴重圖數十葉入 定價金四圓五十錢 書留料金二十七錢
◇本縣の政治家、學者、教育家、陸奥文化研究者、乃至郡町村史（本縣大字郡町村）通・編纂者等の唯一なる參考書にして、本書を讀まずして、純粹磐城の文明及價値を知・能はず、切に本書必備を薦む
縣下各書店販賣殘部少數に付至急申込を乞ふ……
本縣大取次所 郷土文化會
福島縣平町[illegible]